

研究課題名	肝切除時の術中出血量評価に対する VIBe SCALE の妥当性の検証
研究の意義・目的	肝切除術における術中出血量は手術侵襲の大きさだけでなく術後合併症と関連することが知られており、出血の制御は安全な肝切除の遂行と術後合併症の減少のために重要な臨床課題です。一方、肝切除時の出血の重症度評価についてはこれまでほとんど報告がなく、止血処置による急性出血量の減少効果や術中総出血量との相関について検討されていません。近年、種々の外科手術において急性出血重症度スコアである VIBe SCALE の有用性が報告されている。今回、肝切除時の術中総出血量に対する VIBe SCALE の妥当性について評価することを目的とし研究を計画しました。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～2024年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2020年6月～2022年6月に大阪市立大学医学部附属病院の肝胆膵外科で、肝切除のため入院された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、手術動画】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院肝胆膵外科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院肝胆膵外科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 研究責任者 新川寛二
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	研究責任者 大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 病院講師 新川寛二 住所 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 肝胆膵外科学医局 電話 06-6645-3841 FAX 06-6646-6057 E-mail hirojishinkawa9876@gmail.com